



【令和2年度・第2次筆記試験】

事例Ⅲ（生産・技術戦略） 模範解答例

（この解答例は、11月1日13:00 現在のものです）

第1問（配点20点）

- (a) 溶接技術や研磨技術が高く、特殊加工や仕上げ品質が要求される製品を製作できること。
(40字)
- (b) ①製造部でチームにより技術力にばらつきがあること。②納期の遅延が生じていること。
(40字)

第2問（配点40点）

（設問1）

- (a) 問題点は、製作前プロセスで、仕様変更などによる顧客とのやりとりや、造形物のイメージの摺合わせに時間を要していることである。(60字)
- (b) 対応策は、3次元CADを導入して顧客との摺合わせを円滑化し、図面の作成工数を削減して製作前プロセスを短縮することである。(60字)

（設問2）

- (a) 問題点は、複雑な形状など高度な加工技術が必要な製品などの受注内容によって、製作期間が生産計画をオーバーすることである。(59字)
- (b) 対応策は、工程順序と工数見積もりの標準化を確立し、作業チームの技術力の差を考慮した精度の高い生産計画を策定することである。(60字)

第3問（配点20点）

C社は、製品情報管理システムを導入してコンカレント・エンジニアリングを進めるべきである。具体的には、①異なる工程を同時並行的に進めることで、リードタイムを短縮し、②情報を全社で共有して打合せ等を削減し、作業者の稼働率を向上させることである。(120字)

第4問（配点20点）

C社は、①ビル建築用金属製品の溶接・組立までの工程を外注化し作業スペースを確保するとともに、工場レイアウトを見直してモノの移動を削減し、②各作業チームのリーダーが熟練技能をOJTで作業員に教育し、チームによる技術力の差を平準化するべきである。(120字)

文責：AAS 東京 早坂健治

2次試験で悩んだら、ぜひAAS東京へお越しください！

本科講座や公開模試、合格判定合宿、アシストゼミの開催を通して、
中小企業診断士2次試験への「明確な事例解法」を提供しています。
診断士受験生応援ブログ「合格アミーゴス」も好評です！

aas 東京

検索